

令和 3 年度町長訓示

R3/4/1

昨年を振り返って（感謝とお願い）

本日は令和 3 年度のスタートの日に当たり、新しい仲間を迎え一言申し上げます。

コロナ感染症は収束まで一年以上はかかると予想していた通り、現在もなお全国各地で猛威を振るっており、緊急事態宣言が解除され、やや落ち着きをみせたものの、予断を許さない状況が続いています。富加町は町民の皆様のご協力のお陰で最低レベルの感染者数に留まっていることは幸いですが、本年も気を緩めることなく感染防止対策の徹底を継続し、行政サービスは住民サービスであるとの原点に帰って職務に当たっていただくようお願いいたします。

本年度職員数 78 名・JUSTomika life・国勢調査・人口 UP!!!!

本年 4 月 1 日からは、職員定数条例の改正により定数が 79 名となり、保育士 1 名と一般職 2 名の計 3 名を新規に採用することとし、退職者 1 名を含め、職員総数は 78 名の体制となります。

本年度については、昨年五月の町長選挙において町民の皆様にお約束した JUSTomika Life「みんなで創る誰もが住みよい ちょうどいいまち とみか」の実現のため、富加町第 5 次総合計画後期計画の 6 つの目標を基本とし、人口増加対策、子どもを安心して産み育てられる富加町とすることを念頭に行政を運営してゆかなければなりません。

年末年始のメッセージでも触れましたが、今年の国勢調査の結果からは、自然動態では減少となったものの、社会動態では転入者数が転出者数を上回り、また 0 から 14 歳までの年少人口は、増加傾向で推移しており、町内事業所における就業者も増加しております。これらの結果からも、これまでの施策の方向性は変えることなく来年度に向けても同様の理念のもと事務事業を進めてまいりたいと考えております。

職務に当たっての心構え

毎年お話ししますが、今年はコロナ禍の昨年の経験を踏まえ、特に職務内容の発展的見直しに取り組んでください。コロナ禍を一つのチャンスと捉えることが必要です。職員全員が実践し継続した形で実行に移すことで必ず今までと違った世界が見えてくるはずです。また、能率を上げて時間をつくり、仕事の質の向上を図り、余裕をもって、自分の為にも家族の為にも時間を作って下さい。メンタルヘルス的にも良い影響を与えるはずです。また、公務員として住民サービスの向上も重要です。各自の目標をしっかりと持ち、全員が同じ意識・同じ理解で考える事の出来る職場を理想とし、職員同士の助け合いを忘れず職務に精励して下さい。このことは富加町役場のレベル向上に資するものと考えます。今日からはまた心機一転、それぞれ新しい目標を設定していただき、それに向かって邁進して頂きたいと思っております。

今年も三つのこと「行政マン・行政ウーマンの誇りと自覚」・「コンプライアンスの重視」・「いつも笑顔でさわやかに」を忘れず業務にあたって下さい。自治体職員を志したからには、どんなにつらく苦しい時があったとしても、一人で悩むことなく同僚に相談するなどして解決に向けての努力を惜しまないようにして下さい。必ず道は開け、それを乗り越えることが出来ると信じています。

最後に！！！！

最後に、本年もコロナ感染症の影響は避けられず、忙しく厳しい1年になりますが、心に残る記念すべき1年になることを祈り、併せて皆さんには健康には十分留意され、いっそうの飛躍を期待し、新年度にあたっての訓示といたします。

令和3年4月1日 富加町長 板津 徳次